

発行所 環境農業新聞社
編集発行人 成瀬一夫
東京都葛飾区東金町1-41-9
〒125-0041 フランス堂ビル3階
電話 03-3826-5212
FAX 03-3826-5217
年間購読料 3,000円(税・送料込)
郵便振替口座 00150-2-290578

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

「遺伝子組換え表示制度」に提案

日本豊受自然農

GMO表示、不可欠

危惧されるオリシビック

自然農法を静岡県、北海道で実践し、安全・安心の農産物を販売する...



由井代表

最近、東京オリシビック開催時に、日本の農産物は提供できないのでは...



NPO法人元氣農業開発機構のメンバーもイモ掘りに参加



子供達のためにもGMO表示を



これこそオーガニックの弁当! (豊受オーガニックレストラン)

の問題に関する高い海外からの旅行者からは、私どものレストランのメニューやショップに並んでいる加工品について...

その日本豊受自然農の由井代表は、日本豊受自然農の事業内容を述べながら表示制度について表示に無理があることを...

で、自社農園農作物を原料にした和食レストランやショップを東京・世田谷区で行っており、グループで自然農法を起す点に六次産業化に取り組んでおります。...

これまでの検討会の議事録を拝見しております。確かに食品加工を行うメーカーの立場として、ラベル表示という限られた面積に、それも個食化など表示可能な面積が小さくなるなか、ラベルの中にGMO由来か、NON GMOかを正確に全て表示していくことには無理があるという主張も理解できます。

一方、消費者、バイヤー側としては、食品とは体の中に入るものだからこそ、安心安全の確保のために、材料面については、より詳しい情報を知りたい。とりわけ、国際的にも議論のあるGMO由来の原材料を含んでいるかどうかについての正確な情報を知った上で、購入するかどうかの意思決定をしたいというニーズも十分わかります。

法人認可され4周年を迎えました。



民間の英知を結集して元氣農業を! 農の復権 甦れ! 日本農林水産業

特定非営利活動法人 元氣農業開発機構

- 理事長 古瀬洋一郎 (エバンストン代表取締役)
副理事長 高野清允 (元紀文食品代表取締役専務)
副理事長 坂本幸資 (サクラボプロジェクト 取締役副社長)

- 理事 五十嵐晃一 (元厚生労働省)
理事 山元猛英 (読売広告社)
理事 稲林哲郎 (次世代農業代表取締役)
理事 具頭春子 (キムチ製造専門家)
理事 小林由和 (御池産農産物代表取締役)
理事 由井寅子 (日本豊受自然農代表)
理事 若狭昭彦 (エスケール環境代表取締役)
理事 桜庭厚生 (画家・元大蔵省)

- 特別顧問 尾崎護 (元大蔵省事務次官 矢崎総業取締役)
特別顧問 神谷光徳 (日本経済人懇話会会長)
特別顧問 伊東章 (伊東法律事務所弁護士)
相談役 志村弘雄 (環境・文化弘報研究所理事長)
技術顧問 前川孝昭 (つくば大学名誉教授)
技術顧問 大塚晴康 (ボンテック社代表取締役)

〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-41-9
電話 03(3826) 5212
FAX 03(3826) 5217